

## 福島県でエサキアメンボを採集

三田村敏正<sup>1</sup>・我孫子虎之介<sup>2</sup>

エサキアメンボ *Limnoporus esakii* (MIYAMOTO, 1958)は北海道から九州まで分布するが、近年その生息地は減少している(林・宮本 2018)。東北地方ではこれまでに岩手県で記録されているが(佐竹 1990)、この記録は栗木ヶ原湿原という標高 1,300 m の池塘のある湿原であり、本種の一般的な生息環境とは異なることから疑問視されている。筆者はこれまで記録のなかった福島県において本種 (Fig.1) を採集しているので報告する。採集したのは福島県相馬市にある汽水湖・松川浦の北部で、浦に隣接した陸地にあるヨシ原である (Fig. 2)。2019 年 9 月 12 日に、密に繁茂したヨシ群落内で複数の本種成虫および幼虫を発見した。さらに、10 月 27 日にも成虫、幼虫を確認した。11 月 23 日に訪れた際には確認できなかった。本種は大部分が休眠するとされる黒色型と非休眠の白色型が知られるが(村路・加藤 1990; 増田・中尾 2013)、本調査では 1 個体をのぞきすべて黒色型であった。

本種が発見されたヨシ原は、強風で松川浦の水が入った時は若干の塩分濃度の上昇があるものの基本的には淡水であり、ネアカヨシヤンマやアオヤンマが多産し、キタミズカメムシやババアメンボが記録されている場所である。

報告にあたり、文献をご教示くださった村路雅彦氏、伊藤 智氏、発見時の調査に同行していただいた長崎大学の大庭伸也准教授ならびに渡辺黎也氏に御礼申し上げます。

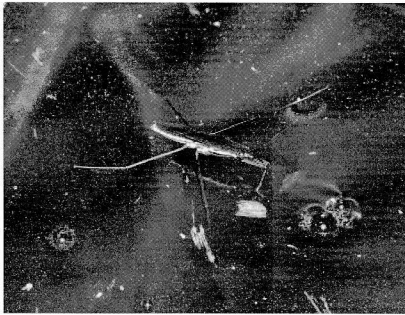


Fig. 1. エサキアメンボ♀ (相馬市松川浦, 2019 年 10 月 27 日撮影).



Fig. 2. 生息地.